

三鷹市交通総合協働計画2022 第2次改定（案）に係る市民意見への対応について

【凡例】

- ①計画に盛り込みます・・・・・・・・意見を概ね提案どおりに盛り込むもの
- ②計画に趣旨を反映します・・・・・・・・意見の趣旨を計画に反映するもの
- ③対応は困難です・・・・・・・・趣旨の反映を含め計画に盛り込むことが困難なもの
- ④事業実施の中で検討します・・・・・・・・事業実施段階で判断するもの
- ⑤既に計画に盛り込まれています・・・・・・・・既に意見が計画に盛り込まれているもの。既に意見の趣旨が計画に反映されているもの
- ⑥その他・・・・・・・・その他の意見など

パブリックコメント
提出状況

人数： 1 名
件数： 5 件

No	該当ページ	該 当 部 分	市 民 意 見	対 応 の 方 向 性	対 応 の 方 向 性
1	20	コミュニティバス 新規ルートの導入	<p>【コミュニティバスの路線について】</p> <p>予てより商店街の開業医などを中心として、高齢化した顧客を抱える事業者から、路線バスとコミュニティバスが同じ路線であり、利便性がとても低いとの声がある。当地区では健常者であればバス停まで行って待つ時間で駅までいけてしまうため、いままで見過ごされてきたが、高齢化が進んだことで不便との声が強くなってきたので継続して見直しをお願いしたい。</p>	⑤既に計画に盛り込まれています	<p>バスの運行ルートについては、地域の特性やニーズを踏まえた上で、地域公共交通活性化協議会での検討を進めるとともに、「みたかバスネットの抜本的な見直し」の中で検討し、路線バスと補完交通としてのコミュニティバスの役割分担を踏まえ、交通不便地域の改善や高齢者の外出の促進、町のにぎわいの創出など、地域特性に合わせたバスルートの見直しを進めていきます。</p>
2	20	コミュニティバス 新規ルートの導入	<p>【長距離路線バスについて】</p> <p>将来、東京外かく環状道路が東八道路と接続するインターチェンジを設けられる計画と聞いている。駅から少し離れた地点、例えばさくら通りに面したスペースなどに長距離バス用のバスターミナル、もしくは、市内郊外のバスターミナルに乗り入れることができる循環バスへの乗り場があれば人の流れが変わるのという会の中での雑談があった。コミュニティバスの路線設計とあわせてご検討願いたい。</p>	④事業実施の中で検討します	<p>バスの運行ルートについては、地域の特性やニーズを踏まえた上で、地域公共交通活性化協議会での検討を進めるとともに、東京外郭環状道路の蓋掛け部分に整備予定の北野の里（仮称）等の都市基盤整備事業と連携し、路線バスとコミュニティバスが一体となった公共交通の実現に向け検討していきます。</p> <p>また、市民の利便性の向上のため、バス同士だけでなく、鉄道などとバス路線間での情報の共有化が行えるよう進めていきます。</p>

No	該当ページ	該 当 部 分	市 民 意 見	対 応 の 方 向 性	
3	19	自動運転やAI技術の活用といった新技術の研究	<p>【パーソナルモビリティについて】</p> <p>ソーシャルライドなど外国都市では自転車の共有などが盛んで、自転車だけでなく、様々なモーターがついた自走可能なパーソナルモビリティが隆盛となっている。日本の道路交通法上、いまだにセグウェイのようなカタログスペックで5Km/h以上で自走可能なパーソナルモビリティは許可されていないが、もし許可されるように法検討が進んだとしても、三鷹市内にはそれに対応できる道路がない。乗り捨てられることが将来的に問題となることが予想されるので、野川公園付近や商業区、コミュニティセンター、医療施設付近などにパーソナルモビリティやシェアバイクなどに使える用地計画や、パーソナルモビリティ用の道路計画、商業連携をご検討いただきたい。</p>	④事業実施の中で検討します	新技術への研究の中で、パーソナルモビリティの活用なども見据えた、より安全で安心して移動できる交通環境の実現の可能性について研究していきます。
4	19	自動運転やAI技術の活用といった新技術の研究	<p>【物流について】</p> <p>物流用の自動運転配送システムや、道路行政と離れるかもしれないが、ドローンなどによる置き配などもそう遠くない将来一般実用化することが予想される。現行存在する自動車以外のものが道路を通行する技術的蓋然性が高まっているので、電線の上部にネットを張ったドローン飛行可能な道路などどのような可能性があるのか、予見可能な未来についての検討開始をお願いしたい。</p>	②計画に趣旨を反映します	市民の方の利便性の向上につながるよう新技術を活用した、交通環境の実現の可能性を研究していく中で、自動車以外のものが道路を運行する可能性についても研究していきます。
5	36	総合的な交通安全事業の推進	<p>【荷物積み下ろしなどによる一時停車】</p> <p>宅配などの商業形態が多くなり、また高齢化により老健施設の送り迎えによる路上での一時停車が増えている。これからますます多くなると予想される。生活道路を通り抜け不可として運用した場合どうなるのかなど、一部試験導入し検討してはどうだろうか。</p>	④事業実施の中で検討します	道路交通秩序の維持に向け、三鷹警察とも連携し、交通実態に即応した交通規制の推進を行っていきます。